

# 平成30年度 第1回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会 開催報告

## 「ヘルスケア分野のビジネス動向・将来展望と中国地域の研究シーズ・ニーズ」

主催：公益財団法人中国地域創造研究センター

### 【概要】

公益財団法人中国地域創造研究センターは、2018年7月31日(火)、広島市のホテルセンチュリー21広島において「平成30年度 第1回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会」を開催しました。本交流会は、中国地域企業のヘルスケア・医療福祉機器分野への新規参入や新製品・事業化につながる出会いの場となることを期待して、この分野の最新情報や大学等における研究シーズ・ニーズを紹介するものです。「ヘルスケア」をテーマとする今回は、「ヘルスケア分野のビジネス動向・将来展望と中国地域の研究シーズ・ニーズ」と題して開催しました。

講演では大手企業のヘルスケアビジネスを取り上げ、富士フイルム(株)の中村 善貞 氏からはヘルスケア事業領域における取組みやビジネス戦略について具体的な事例も交えてご紹介いただき、富士通(株)の田中 宏明氏からはヘルスケア ICT 分野における取組みや将来構想について紹介していただきました。参加者からは、「フイルム会社が新規事業へ出ていく挑戦のプロセスが良く理解でき参考になった」、「ICT 化が進む過程を分かり易く紹介されてよく理解できた」といった声をいただきました。

研究シーズ・ニーズ発表では、県立広島大学の高木 雅之 講師から、健康増進・介護予防を目指した日常活動データ活用アプリの開発について、続いて広島市立大学の釘宮 章光 准教授から、ヘルスケア分野への応用を目指したアミノ酸計測装置の開発について、最後に岡山大学の五福 明夫 教授から、ヘルスシステム統合科学研究科の研究シーズとして Virtual Reality 技術や音声明瞭化技術などの応用事例について紹介していただきました。

これらの発表に対して2社が関心を示され、今後、マッチングに向けた事業化検討を進めて参ります。

### 【講演風景】



### 【日程・場所】

日時：2018年7月31日(火) 13:30～17:15

会場：ホテルセンチュリー21広島（広島市南区的場町 1-1-25）

【参加者】 97名

### 【プログラム】

- |                      |  |         |
|----------------------|--|---------|
| (1) 講演1              | 「富士フイルムのヘルスケア事業領域における取組みおよびビジネス戦略」<br>富士フイルム株式会社 R&D 統括本部 イノベーションアーキテクト                          | 中村 善貞 氏 |
| (2) 講演2              | 「ヘルスケア ICT 分野における富士通の取組みおよび将来構想」<br>富士通株式会社 ヘルスケアビジネス推進統括部<br>第二ヘルスケアビジネス推進部 マネージャー              | 田中 宏明 氏 |
| (3) 研究シーズ・<br>ニーズ発表1 | 「健康増進・介護予防を目指した日常活動データ活用アプリの開発」<br>県立広島大学 保健福祉学部 作業療法学科 講師                                       | 高木 雅之 氏 |
| (4) 研究シーズ・<br>ニーズ発表2 | 「ヘルスケア分野への応用を目指したアミノ酸計測装置の開発」<br>広島市立大学大学院 情報科学研究科 医用情報科学専攻 准教授                                  | 釘宮 章光 氏 |
| (5) 研究シーズ・<br>ニーズ発表3 | 「ヘルスシステム統合科学研究科の研究シーズ～Virtual Reality 技術や<br>音声明瞭化技術などの応用事例～」<br>岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 副研究科長／教授 | 五福 明夫 氏 |



この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>